



【ハレルヤ保育園の理念】

- ◆思いやりの心・豊かな心を育む。
- ◆自分で考え、自分で行動できる子を育む。
- ◆個性を大切に「自分らしく育つ」事を応援する。
- ◆保護者への安心を提供する。

【法人の理念】

ハレルヤ保育園は、法人の設立理念に立って、施設で保育される乳幼児1人ひとりの成長と発達を支え、保障し、健全な育成を支援する事を目的とする。

☆苦情解決委員会☆

- ◎苦情解決責任者 曾我部 謙
 - ◎苦情解決窓口担当 松岡 美香
 - ◎第三者委員 申英子・笹野芳照・畑健二郎
- ※意見箱は送迎用玄関に設置しております。
ご質問・ご要望等随時受け付けております。
又育児相談も随時受け付けております。

社会福祉法人日本コイノニア福祉会

ハレルヤ保育園

〒573-1155 枚方市招提南町1-3-18

TEL/072-868-5541 fax/072-868-5542

E-mail h-hoikuen@koinonia.or.jp

ホームページ http://www.koinonia.or.jp/

h-hoikuen/

「子よ、元気を出しなさい」（マタイによる福音書 9章2節）

コロナ禍で迎える2度目の年末年始ですが、皆様はどのようにお過ごしになられるのでしょうか。私たちは時に、病気やケガで身動きが取れなかったり、ひどく疲れ落ち込んだり、悲しみにふさぎ込んだり、様々な理由から元気が出ない時があります。そして、そんな時に周りの人たちから「元気を出して」と言われても、素直に受け取れないこともあります。聖書は、そんな私たちに「元気を出しなさい」と語りかけています。

イエス様は体の麻痺した人に向かって、この言葉をかけられました。現代では体の麻痺について、その原因を解明することができますが、当時は悪霊のしわざや、だたりだと考えられていましたので、そのような人は世間から差別され、忌避・隔離されていました。しかし、この人には、彼のことを担架に載せてイエス様の前にまで運んでくれた友人たちがいました。イエス様はそのようなみんなの働きに心打たれて、「子よ、元気を出しなさい」と言われました。言い換えれば「この方々と一緒にいるあなたは、元気を出すことができますよ」ということだったのではないのでしょうか。

「元気を出したくても、元気を出せない」……。そんな時でも、私たちは一人ではありません。クリスマスに神様が人間となったということは、私たち一人一人の働きの中に、神様が共におられるということです。私たちはこの新しい年も神様と共にあって、守られながら、周りの方々と共に生きる歩みへと導かれて行きます。

チャプレン・牛田匡（日本コイノニア福祉会 理事長）

今月の讃美歌

うつくしいあさも
ひかりひかり
みんなでみんで



▼クリスマス献金のご協力ありがとうございました

集められた献金は、世界で困っている方々の為にもちいていただくことになっております。たくさんのご協力ありがとうございました。

▼退職される職員について

フリー職員の吉田香乃が、12月いっぱいまで退職されました。

▼土曜日保育の利用について

先日におたよりでお知らせ致しましたが、土曜日保育を利用される場合は、土曜日保育申し込みカードにて申請していただくようお願い致します。週によって、ご利用家庭数がお幅に増減する為、食材の発注と保育体制の調整が厳しくなっております。食材を無駄にしない為に、また、事前に保育体制を調整する為に、保護者の皆様には前月の20日までに1ヶ月分の申込み（勤務予定が分からない場合は月曜日、一週間前まで）をお申し込みください。

【お願い】

土曜日保育は、原則的に両親が仕事等で、お子さまの預け先がないご家庭が対象となります。また、同居家族や祖父母のご協力がとれるご家庭は、お休みをしていただくように何卒お願いいたします。（※特別な事情がある場合は、土曜日保育申請書カードでお申し込みください。）



12月18日(土)
クリスマス礼拝



ページェント(降誕劇)を
演じましたよ!!



1月の予定



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 身体測定① 保育開始日	6 身体測定②	7 子ども礼拝	8
年始休園日(1/4まで)						
9	10 成人の日	11 避難訓練 きらきら広場	12 ふれあい体験 (5~8ヶ月児)	13	14	15
16	17	18 びびび広場	19 体験保育	20	21	22
23	24	25	26 ふれあい体験 (1才のお誕生会)	27 ハッピースマイル リハーサル①	28	29
30	31					